

# 水間鉄道

## 一夜の街並みが光のアートに、走る電車から投影

水間鉄道100周年記念「デジタルアートフェス in 水間観音 2024」開催中！水間鉄道の創立100周年を祝う記念イベント、「デジタルアートフェス in 水間観音 2024」が始まりました。本イベントの目玉企画として、走行中の電車内から光のアートを投影する「デジタルアート電車」が11月2日より運行をスタートしています。

期間は12月1日まで、毎日午後6時から9時台に貝塚駅から水間観音駅までの約5.5キロを走ります。このデジタルアート電車は、2両編成の車内に8台のプロジェクターを設置し、デジタルアーティスト・長谷川章さんが手掛けた色とりどりの模様がゆっくりと変化する光のアートを周囲に投影しながら進んでいきます。乗車中は、幻想的な光の演出に目を奪われること間違いなしです。初日には貝塚駅でオープニングセレモニーが行われ、参加者たちは電車内でアートを楽しみ、スマートフォンで撮影しながら終点の水間観音駅までの約15分間を堪能しました。

さらに、期間中は水間鉄道の全10駅のホームや周辺も宝塚大学東京メディア芸術学部の学生たちが制作した光のアートで彩られます。また、「厄よけ観音」として有名な水間寺でも、本堂や三重塔が長谷川さんの作品でライトアップされ、幻想的な空間を演出します。皆様もぜひこの機会に「デジタルアートフェス in 水間観音 2024」に足を運び、100周年を迎えた水間鉄道の特別な光のアートの旅をお楽しみください。

★写真左から順に：

- ・ 貝塚駅でのオープニングセレモニー
- ・ デジタルアート電車に乗車するお客様
- ・ 電車消灯時の車内の様子
- ・ 電車走行時の町の様子
- ・ 水間寺でのバブルアート（シャボン玉）ショー
- ・ 水間寺の光のアート

